



有意義な企業訪問になりました。

10月26日(水)に、クラスごとに、富山県の企業を訪問しました。訪問先の企業の事業内容や社員の仕事を紹介していただき、対話を通じて「社会との関わり方」や「働くことの意義」を考えるきっかけとなりました。また、各企業の課題を考えながらその解決策を探ろうと、様々な質問が出ました。その企業の現在抱える問題点、それを解決するためのさまざまな取り組み等、これから総合的な学習の時間の課題であるNクエストプロジェクトⅡ「北陸の未来を創造せよ！」という目標に向かう上で、たくさんのヒントをいただきました。中には、SDGsに取り組む姿勢や昨今のウクライナ情勢からのエネルギー問題、それに付随した物価上昇の問題など、会社は社会の影響を直接受けることを実感したクラスもありました。



〈 A組 C組 池田屋安兵衛商店 〉

丸薬作りを体験して、その難しさを実感しました。昔は技が必要でしたが、現在は機械化により大量生産できるようになりました。



〈 A組 トナミ運輸 〉

学校の物資を運送することが多く、迅速で円滑な配送が求められます。だから、配送するまでの一連の流れを管理するロジスティクスが大切だとわかりました。



〈 B組 川田工業 〉

橋梁、鉄骨、鉄塔等各種構造物の設計、製作を請け負っている会社で、東京オリンピックで使用された国立競技場の建設にも携わっています。橋梁についていろいろな知識を得ることができました。



〈 C組 インテック 〉

研究開発により、通信事業者としては初のISDNサービスを開始したり、なにより通信カラオケシステム(JOY SOUND)を世界で最初に開発したことに驚きました。